

第4回トランドランモニターツアーin 滋賀県大津市

ペク・ジョンイン

2018.11.19. - 2018.11.21.

大津 —美しく、そして神秘的な日本の小都市の魅力を追いかけて—

[プロローグ]

私が初めて第4回モニターツアーin 大津市の広告を見たとき、私は大津という地域について全然知りませんでした。福岡、大阪、東京で計8回旅行し、「日本旅行なら私に訊いて」と言えるほど自信があった私にとっても、大津は未知の世界でした。インターネットを通じて調べた大津は、京都とわずか9分ほどの近い都市で、琵琶湖、石山寺、そして息を飲むような大自然と日本の伝統文化の息吹がそのまま残されている美しい都市でした。これは、私がこれまでの日本旅行から感じた日本の魅力、つまり、単純に夜景を楽しみ、ショッピングをしてきたのとは全く違って、私はその間にやってきたような、多くの韓国人が訪れる「大阪」、「東京」などの、フェイスブックやインスタグラムを通じて触れやすいお決まりのコースではなく、トランドランモニターツアーの趣旨でもある「知られざる日本の小都市の魅力」を感じたいと思いました。そんな大津の魅力を体感できるモニターツアープログラムに私は惹かれました。

—目 次—

●紹介

●1日目

-京都から大津市へのアクセス

旧竹林院

おごと温泉

●2日目

琵琶湖バレイ (Biwa Lake Valley)

浮御堂

ミシガン・クルーズ(Michigan Cruise)

近江神宮,そして袴体験

●3日目

一番丸乗船場

石山寺

●終わりに

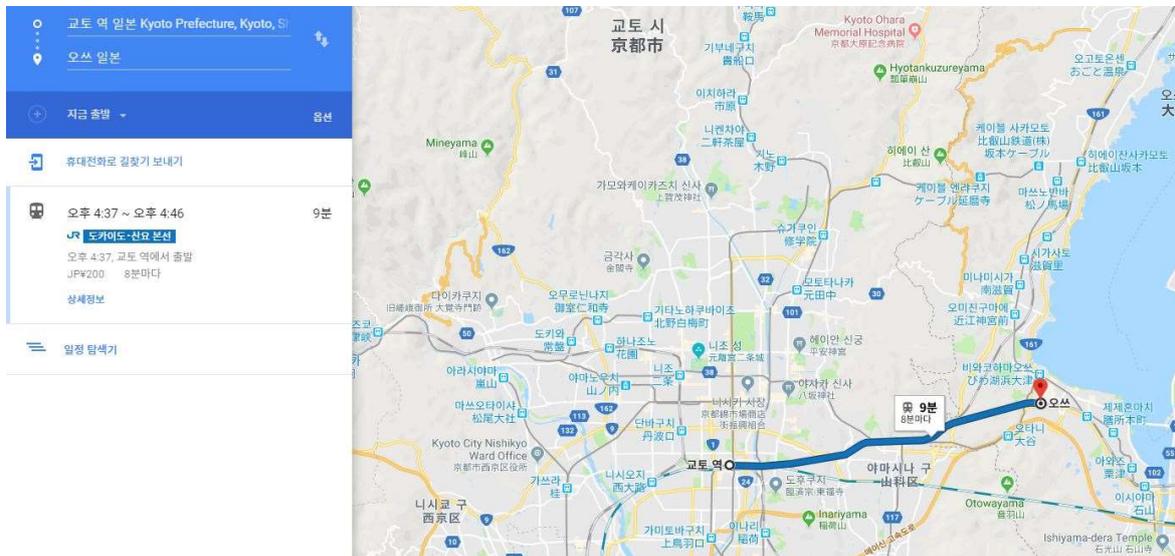
[紹介]

大津市は関西地方の都市であり、歴史都市、京都の東側に位置する滋賀県の県庁所在地で最大都市です。東は日本最大の湖である琵琶湖(面積 670 平方 km)と接しており、西は比叡山に接しています。そして、京都駅から電車で 9 分の距離に位置しているので京都都市圏に入ります。京都から近く、日本の古典小説「源氏物語」の背景になった都市としても知られています。また、滋賀県は古称「近江」という名でも愛され、近江牛は神戸牛などと共に日本の最高級牛肉ブランドとして知られます。

[1 日目]

京都から大津市へ移動

朝 9 時 5 分、仁川空港出発のイースター航空の飛行機に乗って関西国際空港に到着。関西空港で特急はるかを利用して 70 分ほどで京都駅に向かい、JR レンタカーを利用して大津市に入りました。



*京都から大津まで JR を利用して 9 分でアクセスできます！

★JR レンタカーは JR(Japanese Railways) と提携して JR はるかの利用客を年間割引提供し、国内旅行社のハナツアーなどと協約を通じて韓国観光客を誘致しようとする努力をしています。

https://www.ekiren.co.jp/phpapp/en/jr_pass/

★京阪電鉄による大津へのアクセス(主要観光スポット割引提供)

<https://www.keihan.co.jp/travel/kr/tickets/special/pass-comparison>

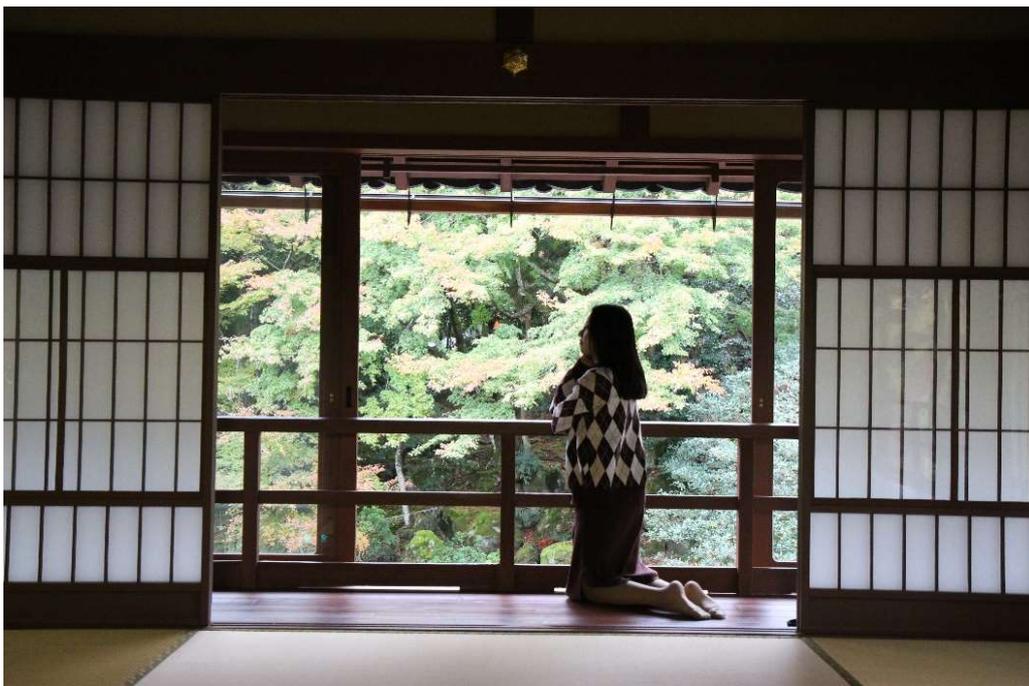
★京阪電鉄の効率的な大津旅行計画

<https://www.keihan.co.jp/travel/kr/plan-your-trip/itinerary-ideas/otsu-line>

最初の目的地、旧竹林院

遠暦寺の里坊で、約 3,300 平方 m の美しい庭園と茶室が調和した場所です。写真でご覧のように晩秋にも美しい庭園風景を満喫でき、京都ほど観光客で混み合っている訳でもなく、私だけの静かで落ち着いた日本庭園を贅沢に感じることができる場所だったと思います。本物の日本の庭園を自分の雑念もまた、森から来る余裕と共に洗い流されていく気分が感じられました。





そして日本伝統の茶道体験プログラムも用意されていましたが、京都では高い価格で行われるプログラムが多いことを考えると、特別なプログラムをリーズナブルに楽しめる点がやっぱり京都の庭園と大きな差別化を図れる旧竹林院だけのメリットだと思いました。

★公共交通

坂本比叡山口駅

入場料:大人 320 円,小学生 160 円

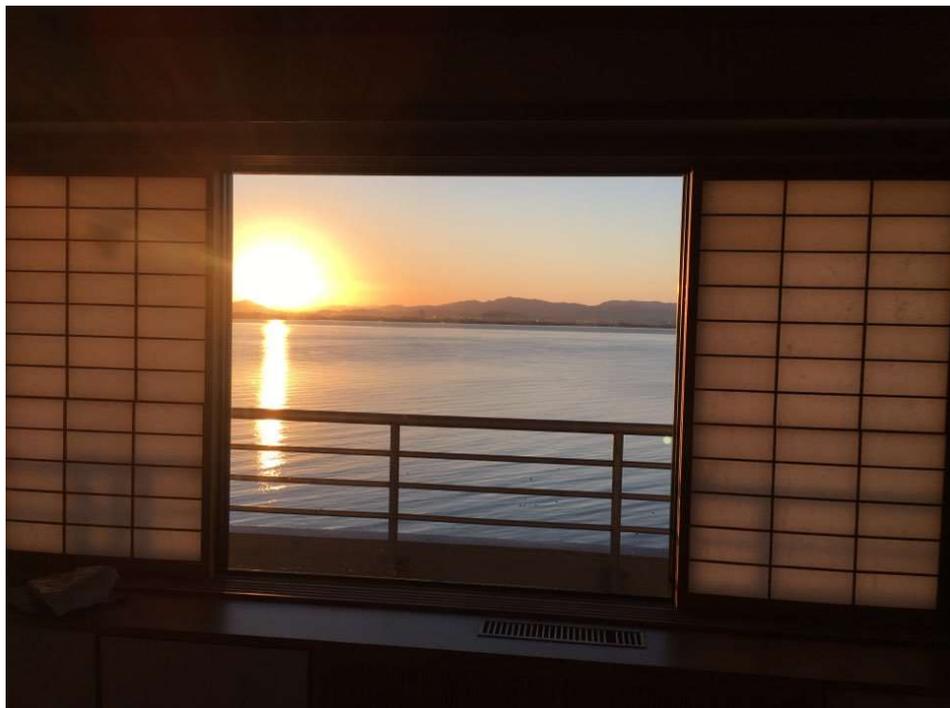


2 番目の目的地、おごと温泉

日本の伝説によると、温泉の南にある天台宗の法光寺の蛇ヶ池と呼ばれる池から地下水が絶えず噴き上がるが、その水を飲んだ村の人々の難病が治り、泥を塗りながら皮膚病や汗疹が治ると言われました。このように、滋賀県では古くからの伝説として受け継がれていて、比叡山の基礎を切り開いた最澄に始まり、現在まで 1200 年以上の温泉地です。PH 9.0 の高アルカリ性の源泉水を通じて神経痛と筋肉痛に効果があることも検証されていて、おごと温泉の多くの旅館やホテルは水道水の混ざっていない源泉を使用しており、日本国内でも大きな名声を誇っています。

<https://www.ogotoonsen.com/korean/index.html>

(おごと温泉公式ウェブサイト、韓国語)





一日の宿泊は琵琶湖グランドホテルに宿泊することになりました。琵琶湖グランドホテルには 1 階にローソン(LAWSON)のコンビニと 2 つの大浴場がある大規模な温泉ホテルです。ホテルの客室は畳で構成され、浴室と客室温泉が 24 時間、おごと温泉水を循環し、温泉浴に最適になっています。アメニティーも十分に提供されて足りないものもなく、琵琶湖の美しい夜景を見ながら楽しむ温泉浴は忘れられない思い出になりました。また、寝る前にデスクに寝床を問い合わせると、お座敷の畳の上に日本式の寝床を敷いてくれるので、温かくて暖かい雰囲気の中で窓を通じて琵琶湖の静けさが感じられ、旅館に劣らない安らかさを楽しむことができました。

<https://www.biwakogh.co.jp/kr/>

(琵琶湖グランドホテルのウェブサイト、韓国語、周辺の交通及び案内提供)



そして夕食では懐石料理が提供されましたが、様々なコース料理で旬の魚料理、刺身、漬物などは、目と口をすべて満足させるメニューで、その中でも近江牛を花崗岩のプレートで焼いて食べるのは初めてでしたが表現するのに良い言葉が思いつかないほどおいしかったです。

[2日目]



最初の目的地、びわ湖バレイ (Biwa Lake Valley)

最近、日本ではSNSアプリ「Instagram」の人気とともに「インスタ映え」という新造語が流行っています。それくらい 20-30 代にInstagramに自分の日常を共有するのが普遍化しました。大津のフォトスポットで有名なびわ湖バレイを訪れ、琵琶湖の絶景を鑑賞しました。そして冬にはスキー場をオープンして地理的利点を生かしていました。このような長所で、最近カップルや若い世代に大人気を博している大津の旅行中心地の役割を果たしていました。

ロープウェイを通して 5 分ほどかけて登って行ったびわ湖バレイ、まず私は巨大な湖、山と雲の調和した風景に圧倒されてしまいました。カフェでのおいしいデザートやコーヒーを飲みながら、琵琶湖の雄大さを楽しむ時間は私が今まで日本旅行で感じられなかった余裕と自然の偉大さを感じさせました。



そして、びわ湖バレイのテラスには青い水槽に水が張ってあり、そこでまるで琵琶湖の上を歩いているかのような写真を撮るのが流行っています。洗練されたテラスと琵琶湖の絶景がよく似合い、Instagramで大きな人気を集めています。果てしなく広がる雲と湖、そこで残す写真がどうしても記憶に残らないことがあるでしょうか。そして季節によって風景とアトラクションが違うので、そこをポイントに旅行計画を設定することが必要です。また、ケーブルカー搭乗口横の記念品ショップで大津市の特産物を使用した様々なお菓子とレトルト近江牛カレーなどを販売しています。

★ロープウェイ利用料:往復:大人 2500 円,小学生 1000 円,3 歳未満児童 600 円,犬 500 円

★駐車場:平日 1000 円 / 週末及び休日 2000 円

公共交通

JR 御所線滋賀駅から“びわ湖バレイ行き”バスを利用して約 10 分

<http://www.biwako-valley.com/wordpress/wp-content/uploads/2018/12/aba5fba6817354e7b0027e4244599854.pdf>

★びわ湖バレイ行 バス 時間表, 大人 330 円, 子供 170 円



2 番目の目的地、浮御堂

近江八景のひとつ、琵琶湖湖に浮かんでいるような浮御堂。'堅田の雁'で有名な浮御堂があるお寺の名は満月寺です。現在の建物は 1937 年に再建され、1982 年にも修理が行われたお寺です。境内の観音堂

には重要文化財成観音座像が安置されています。平安時代の伝説によると、元信というお坊さんが湖で夜ごとに輝くことを不思議に思い、湖に網を投げたら黄金色に輝く阿弥陀仏が出たそうです。この神聖な阿弥陀仏を供養するために、1000体の仏像を彫刻し、一緒に寺に奉納したという噂があります。

<http://www.otsu.or.jp/app/webroot/en/templesandshrines/0006/index>



2つの大きな松の木に覆われた古風な正門を通り、石橋を渡って出会った浮御堂。琵琶湖で最も狭いところに建てられたという浮海堂では、漁師の安全を祈願し、お供えをする場所だったそうです。このように浮御堂は琵琶湖を四方に見ることができ、湖上に浮かんでいるようなこの幻想的な場所に宗教的、文化的意味を持っている仏堂でした。また幅が狭いので暗礁が多く、1875年に日本最初の本製灯台を設置した場所でもあります。清い空と湖の間に仏堂という調和は自然と心の中の平和を得られる空間であり、また小さな仏堂の中の1000体の仏像の存在は、なんとなく威圧感や仏教の神秘を感じさせるのに充分でした。

交通案内：JR 堅田駅でバスに乗り換えた、後片手町停留所で下車 → 徒歩5分
入場料 300円、年中無休



(ミシガンクルーズホームページより引用)

3 番目の目的地、ミシガン・クルーズ(Michigan Cruise)

ミシガンクルーズは一般的な遊覧船と違い、船の後尾のグループで作動する外輪船(Paddle Boat)です。ミシガンクルーズと名づけられた理由は、米ミシガン市は 1968 年から日本の滋賀県と姉妹都市協定を結び、その友好の証として滋賀県は 1982 年に米国式遊覧船を建造し、琵琶湖の南側を運航しながら観光産業に使用しています。時間帯によって 60 分、80 分、150 分のコースで運行されており、船内のレストランでランチやダイニングコースも提供しています。船舶としては初めて“恋人の聖地サテライト”に選ばれ、最近カップルに多く愛されています。

http://www.biwakokisen.co.jp/MichiganA4leaflet_KR_ol_0417.pdf

(ミシガンクルーズの韓国語案内、運航情報や乗船料、コース価格説明)



(ミシガンクルーズホームページより引用)

★ミシガンクルーズの運行ルート

冬は天気によって春秋と違ってスケジュールが変更されるので事前に確認してください。



ミシガンクルーズは4層からなる遊覧船です。1階は予約制のレストランと恋人たちのためのフォトスポット、2階はホールとカフェ、3階は予約制のVIPルームとバー、そして4階は360度で琵琶湖を眺めることのできるスカイデッキで構成されています。珍しく船の後尾の赤い櫂で動く姿は、あまり見られない遊覧船の形態なので、不思議に思いました。主要な景観では琵琶湖の南側を回りながら、独特な外観を持つ大津プリンスホテルと比叡山の山脈を見ることができます。

2階のホールで行うアメリカンショーは退屈することなく、運行時間を満足させてくれました。またスカイデッキでは海軍制服を準備して観光客に写真撮影を提供し、ショーが終わった後は俳優たちと一緒に写真撮影もできて思い出を残せるコンテンツが十分に用意されていたことが印象深かったです。

公共交通

京阪電鉄浜大津駅→徒歩3分または

JR大津駅 → バス5分(京阪バス、近江鉄道バス)

4番目の目的地,近江神宮,そして袴体験

近江神宮は、日本の伝統カード遊びである「カルタ」の一種「小倉百人一首」で最初の詩を作った天智天皇に献上された神社です。それだけカルタで有名な神社で、それに合わせて1月上旬にはカルタ祭りの一環として宮廷女官の伝統衣装を着飾った4人の取姫がカードを抜いて「カルタ開始儀式」を行います。また、カルタを扱った日本の人気漫画「ちはやふる」の背景になる場所としても人気が高いです。カルタ以外にも真っ赤に染まった神社の姿がとても美しいのですが、このような建築様式は近江様式と呼ばれ、昭和時代(1926-1989)神社建築の代表として登録文化財に指定されています。

「袴」とは着物の一種類で、裾が非常に広い衣服。男性用と女性用との多少の差はありますが、男女共用の衣服です。また、普段神社の巫女たちが着る巫女服が袴です。近江神宮では袴体験プログラムと神前結婚式があり、韓国人や観光客に素敵なプログラムを提供しています。

[http://oumijingu.org/publics/index/174&anchor_link=page174/#googtrans\(jal ko](http://oumijingu.org/publics/index/174&anchor_link=page174/#googtrans(jal ko)

(近江神宮の公式サイト、参拝時間および袴体験に関する情報提供、韓国語支援)



近江神宮に着いて乾紅色の神社と紅葉の調和に感嘆し、穏やかな雰囲気的神社に行ってみました。京都の神社とは違って人が多くなくて、人混みなくていらだたしくないように自分のリズムに従って神社が感じることがとてもよかったです。その後、袴体験プログラムのため神宮の隣にあるお店に足を運びました。袴体験プログラムは参加者の体型と好みに合わせて服の色と丈が多様に選べるという点が魅力的に迫ってきており、日本の伝統衣装を着て神社を歩き回りながら体験できるということは真の日本文化を体験することだと思います。また、袴を着て乾紅色の神社を背景に“人生ショット”に触れることができるというのも大きな魅力です。

公共交通

京阪の電車、石山坂本線、近江神宮前通から徒歩 10 分



[3日目]

1 番目の目的地:一番丸乗船場

明治時代に活躍した船を復元した外輪蒸気船一番丸。瀬田川と琵琶湖を結ぶルートです。船の規模はミシガン・クルーズに比べれば小さいですが、静かに琵琶湖と瀬田川を見物するにはもってこいのことで、運航ルートに石山寺があるので、連携して一緒に観光計画を立てる観光客が多いです。

<https://youtu.be/tudZE3QK5w>

★一番丸運行ビデオ

<http://www.lakewest.jp/info.html>(一番丸の運行経路と価格情報)



瀬田川新乗船場から出発して暖かい日差しを感じながら湖に沿って行く「一番丸」は色々なショーを通じて華やかさを提供したミシガンクルーズと違い、静かな雰囲気の中で周辺の景観を楽しめる船でした。当日は天気良かったので日差しの中で穏やかな雰囲気を満喫でき、大津市の市鳥であるゆりかめが近くを飛び回っていました。船内ではえびセンを売っていて、えびセンを餌にゆりかめと写真を撮ったのが思い出に残り、終着地が石山寺という点も位置的に良いプログラムでした。2 番目の目的地である石山寺と連携して大人料金で 300 円を追加すれば石山寺入場券が購入できるので参考にしてください。

★一般的な石山寺入場料 500 円



二番目の目的地：石山寺

石山寺は日本の仏教宗派の一つ“東寺真言宗”の寺院です。奈良時代の良坂僧正が創建し、石山寺という漢字からも分かるように大きな岩と山が調和したお寺で、境内には名前の由来となった巨大な珪灰石がそびえ立っています。源氏物語の著者である紫式部は石山寺で話の着想を得たと言われ、今も紫式部が閉じこもっていた部屋が残っています。毎年春と秋に風井殿で‘石山寺と紫式部’展が開かれ、石山寺に伝わってきた宝物と源氏物語に関連した展示をしています。そして夜になると明かりを通して正門を照らすのですが、その時がフォトスポットとして日本人だけでなく観光客にも大きな人気を集めています。



<https://www.ishiyamadera.or.jp/guide/event/atarayo-photoevent>

(石山寺公式サイト、英語)

一番丸に乗って石山寺に到着したとき、最初に目についたのは大門の二つの仁王像でした。威厳ある姿勢の仁王像は、悪鬼から寺を守る役割をしているそうです。そして紅葉とともに広がる石山寺は、美しい庭園、本堂、多宝塔など予想していたよりも大規模な神社でした。そして石山寺の語源となった巨大な珪灰石と、日本最古の多宝塔の美しさに驚きを隠せませんでした。京都の金閣寺や清水寺も素晴らしいですが、巨大な石や源氏物語のような歴史的背景なども見どころで、モニターツアーの最後のコースとして、全く遜色ない所でした。夜間開場時の燈火を通して照らされる石山寺が本当に幻想的だということに時間関係上観覧できないのがとても残念でした。



公共交通: 京阪電鉄石山寺駅から徒歩 10 分

[旅を終えて]

現在観光産業で広報が与える影響は本当にすごいと思います。例えば、最近の「花より青春」、「チャンネルツアー」などメジャー放送局の芸能人を利用した番組で増加した観光客の数はそれをそのまま立証していると言えます。滋賀県大津市は歴史的、地理的に見どころが本当に豊かで、隠れた日本の小都市の魅力を知るのには時間が足りないほど様々な魅力を感じました。大阪、京都という大観光地の存在感や広報の不在により、韓国人にあまり知られていないことがとても残念に感じられました。今回のモニターツアーを通じて知った大津は、これまで紹介した観光地以外にも見所が多く、確実な特徴を持っています。今回体験を通じて大津という都市を知り、とても幸せでしたし、このレポートを通じて大津を少しでも多くの人に知ってもらい、この魅力的な都市を他の人々と共有したいと思いました。皆さんも「知られざる日本の小都市の魅力」にはまってみてはどうですか？ きっと私が感じた感情以上にみなさんは大津に夢中になるでしょう。